

職員を育てるといった、地域に根ざした職員の育成に力を注いでまいります。

行財政改革等



行財政改革等



金屬加工製品に加えて、農産物や飲食品を返礼品として充実させ、多くの方に繰り返しご寄附いただけるよう取り組んでまいります。

ます。自助・共助・公助の連



指揮と同時に業務を効率化し、政策立案に集中できる環境を整備するためにも、Aの活用などDXを一層推進してまいります。

10

は業務を効率的に案に集中できるためにも、ADXを一層推進す。

ることは、地域全体の結束を強めるとともに、結果的に燕市全体の活性化へと繋がる重要な要素です。こうした地域の活性化により未来を担う子どもたちが、「燕市に戻りたい」、「地域で暮らしたい」と思うきっかけとなるよう、各団体への活動支援をさらに充実させてまいります。

を掲げ、市政を進めてまいりますが、そのためには、人口減少を見据えた行財政の見直しも不可欠であると考えています。

ながら持続可能な燕市を目指して、日々の暮らしを支える公共交通の利便性向上や道路などのインフラ整備に努めて



触れました部活動の地域展開を進め、関係団体との連携強化するほか、市民の皆さんがトップアスリートの技術を身近に感じ、スポーツを楽しめる環境の整備にも努めてまいります。

The image shows a modern, multi-story building with a long, low profile. The upper levels feature large glass windows, while the ground floor has a series of white columns supporting a long, flat roof overhang. The building is set against a clear blue sky. In the foreground, there is a paved area with some low-lying plants.



① 子育て支援のさらなる拡充

1つ目は、【子育て支援のさらなる拡充】であります。

燕市は、これまで『子育てするなら燕市で』を旗印とした先進的な子育て支援に力を注ぎ、今年の夏には『うさぎもちハレラテつばめ』を完成させたなど、さまざまな政策を展開してきました。

その一方で、近年、他の自治体も充実した支援メニュー

① 子育て支援のさらなる拡充

【充】であります。
2つ目の柱は、【障がいのある子どもたちへの支援の拡充】
② 障がいのある子どもたちへの支援の拡充

子どもたちを、そしてその子どもたちを育てる保護者の皆さまを支える子育て支援策を一層拡充してまいります。

減少が進む中で生まれてくる子どもたちを、人口目標を達成する必要があります。人口減少が進む中で生まれてくる子どもたちを育てる保護者の皆さまを支える子育て支援策を一層拡充してまいります。

② 障がいのある子どもたちへの支援の拡充

A young boy with dark hair and bangs, wearing a yellow short-sleeved shirt, is crawling on a light-colored wooden floor. He is looking directly at the camera with a slight smile. In the background, a woman with short brown hair, wearing a white jacket over a black top and dark pants, is laughing and looking towards the boy. The scene is brightly lit, suggesting an indoor setting like a playroom or a home.



場を増やしてまいります。また、先輩世代が築いてきたまちづくりの実績を私たち世代が受け継ぎ、参画する仕組みを構築するとともに、官民一体の取り組みも進めてまいります。

また、市民の皆さんにとって最も身近なまちづくりの場として、自治会やまちづくり協議会などの活動がありなっています。一つひとつの自治会やまちづくり協議会が活性化することで、まちづくりが活性化する

A group of children are playing on a yellow padded structure in a modern, well-lit interior space. The ceiling features a large, circular, light-colored dome with a grid pattern and several windows. A person in a striped shirt is holding a baby in a pink onesie. Another child in a red top is sitting nearby. In the background, more children are visible, including one in a green shirt reaching up towards an orange cube.

私は、「いわゆる『障がい』は、その人にあるのではなく、社会の側にある」という考え方のもと、障がいのある方にとって住みやすい街は、すべての人にとって住みやすい街になると常々考えてきました。

燕市は今年度から5歳児健診を開始し、特別な支援や配慮を必要とする子どもの早期発見・早期療育に取り組んでいます。この施策をさらに充実させるため、専門的な資格をもつ人材を活用し、自立支援を一層強化してまいります。

また、医療的ケア児や重症心身障がい児が、地域の中です。

軽減を図るとともに、子どもたちが生き生きと成長でき社会の実現を目指してまいります。

以上、『育てる燕市』における2つの政策の柱に加え、『J a c k & B e t t y ロジエクト』や『長善館学塾』、『羽ばたけづばくろ応事業』など、子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、世や地域で活躍できる人材の成に力を入れてまいります。さらに、不登校の子どもたちへの支援体制を強化するとともに、部活動の地域展開の連携を強化し、すべての子どもたちが安心して未来の

3つ目の目指すべき方向性は、「燕はひとつ」であります。燕市は、間もなく合併20周年を迎えます。これまでの『燕』『吉田』『分水』の3地区をひとつにする歩みから、今後は、行政や民間の垣根を越えて、さらには、子どもたち、現役世代、先輩世代といった世代を越えて協力し合うこれが、私が目指す「燕はひとつ」であります。

この「燕はひとつ」の実現に向け、市民の皆さんに市政をより身近なものとして感じていただけるよう、私自身が